

21世紀の日本のかたち（124）

2021年春

10年目の東日本大震災と新型コロナ禍



戸沼幸市

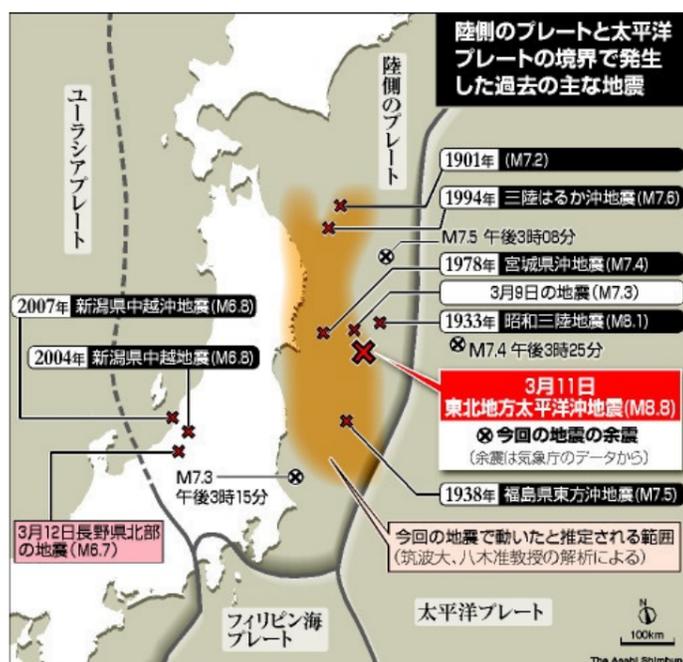
< (一財)日本開発構想研究所 代表理事 >

1. 東日本大震災から10年

2011年3月11日（金）、14時46分、M9.0の巨大地震が東北に発生。その直後、30～40分で巨大津波が東北の海岸を襲ったときの記憶が、10年経った今、改めて思い出されます。

あの日、私は東京の自宅にいましたが、大揺れで棚から本類が床に落ちて散乱しました。時々刻々、テレビに映し出される巨大な津波が、東北太平洋岸の人や家屋を呑み込んでゆく地獄絵を見つけておりました。

図1 陸側のプレートと太平洋プレートの境界で発生した過去の主な地震



資料：朝日新聞 2011.3.12

この巨大地震津波は、福島第一原子力発電所をも襲い、1号機、2号機、3号機の原子炉建屋で水素爆発、核燃料の溶融、大量の放射

性物質の放出。この事態に対して現地に飛んだ菅直人首相（当時）は、事故が収束できなかった場合の強制移転区域（170km）と、東京も入る移転希望区域（250km）を想定しておりました。海外の友人たちから原子力災害に対する心配の連絡が次々ときて、万一の場合、こちらへ来るようにまで言ってくれたことを思い出します。

図2 菅直人元首相による、事故が収束できなかった場合の強制移転の区域（170km）と移転希望を認める区域（250km）のシミュレーション



注：「福島第一原子力発電所の不足事態シナリオの素描」を元に編集部が地図を作成
資料：『原発事故10年目の真実』菅直人、幻冬舎、2021

写真1 岩手県宮古市田老地区の古い防潮堤の上で、黙とう後、風船を空に放つ住民たち



資料：読売新聞 2021. 3. 12

東日本大震災から10年、2021年3月11日、被災各地で追悼の催しが行われました。

東京では政府主催の「東日本大震災十周年追悼式」が、東京都千代田区の国立劇場で開かれ、天皇・皇后両陛下、菅義偉首相、被災遺族代表の方々が参列され、追悼の言葉を述べておられました。

写真2 被災地の花が飾られた標柱に向かい、哀悼の意を示される天皇陛下と皇后さま
(東京都千代田区の国立劇場)



資料：読売新聞

天皇陛下は、大震災復興について国内外の人々の支援、大勢のボランティアの活動の力、福島原発事故、農林水産業への風評被害に懸

念を示されつつ、御霊への追悼の辞を述べられました。菅義偉首相は、福島復興について、原子力災害被災地における帰還に向けた生活環境整備や産業・生産の再生支援を進めるとし、令和3年度からの第2期復興・創生期においても福島の本格的な復興・再生、そして東北復興の総仕上げに全力を尽くすと述べておりました。そして懸念される日本の予想される災害について、防災、減災、災害に強い国づくり国土強靱化に取り組むと述べておりました。

東日本大震災から10年の被災各地の様相

私は都市計画、国土計画の立場から、この東日本大震災の被害状況と、その復旧、復興過程を現地を訪れて見続けておりましたが、今年は3月、コロナ禍による東京などの緊急事態宣言下、現地を訪れることを断念せざるを得ませんでした。

10年前、2011年3月11日に起こった東日本大震災については、日本建築学会（建築雑誌2021年3月号）や、都市計画学会（都市計画2021年3月号）で特集的に取り上げ、また新聞、雑誌、テレビなど、連日報じられており、これらを参考に、私なりに東日本大震災からの10年を総括してみました。

表1 東日本大震災被災状況

発生時刻	2011年3月11日午後2時46分
震源地	三陸沖深さ24km
地震規模	マグニチュード：9.0 最大震度：7（宮城県栗原市）
死者・行方不明者	死者：15,899人 行方不明者：2,526人
関連死	関連死：3,775人
被災規模	津波浸水域：6県で561km ² 住宅の全半壊：405,117戸

東日本大震災は、その被災は北海道、東北、関東を含む広範囲に及びましたが、その中でも、岩手、宮城、福島に集中しました。そしてこの中に、安全神話に支えられてきた福島の原子力発電所の大事故があったのです。

岩手、宮城、福島県の復旧、復興状況

2011年3月11日の巨大地震の修羅場から10年を経ての被災地の復旧、復興は、物理的にはかなり進んだように見受けられます。

・防潮堤の建設

地震津波に対して、T.P. 数mから10m以上の長大な防潮堤を被災市町は築いております（ex 宮古市田老 T.P. +14.7m、陸前高田市 T.P. +12.5m、石巻市 T.P. +7.2m、仙台市 T.P. +7.2m）。コンクリートの防潮堤は、平常時において、まちと穏やかな海を隔てるという難点があります。この点について、宮城県の女川町は、海に見える街にしようと防潮堤を築かず、盛り土した高台に住宅街を造った例もあります。

・仮設住宅

復興住宅の建設＝仮設住宅については、本年3月一杯で10人が全て退去し終了。建設された復興住宅（42市町村）の2021年時点の居住率93%（空室7%）。しかし10年後には空室率20%になるという予測もあります。

・インフラ、上下水道、道路

高台への集団移転計画：12,500戸を対象とし、山を削って高台を造成する大規模宅地開発インフラ整備プロジェクトでしたが、10年という時間経過の中で、被災地の人口減少、高齢化の波の中で、住民が当初の想定通りに戻ってくるかが懸念されています。大規模な

宅地開発、これに伴う上下水道、道路等のインフラの維持費が、震災前に比して自治体の負担が年間131億円（50%）増と試算されています。当初の復旧復興事業は、全額国の負担、被災自治体の財政負担がゼロであったことに対して、自治体側が目一杯の計画を提出したことによる齟齬だったとは岡本全勝元復興庁事務次官の説明です。

今後、5年、10年、被災地の「人口」をどのように想定するか、人口減少、高齢化にどのように対応するか、暮らしの再建、社会の組み立て直しが、被災自治体の直面する課題に違いありません。

被災自治体ではこの10年、様々な取り組みをしてきました。産業面では道の駅（田老）、魚市場、コンテナ航路開設（釜石市）、社会面では小中学校、市民交流センターづくり（石巻）、計画的住宅づくり（陸前高田、岩沼、東松島他）など、各地で懸命な復興が続いています。（日本建築学会、建築雑誌 報告 2021年3月号）

岩手、宮城県の震災復旧、復興は、物理的にひとまず終えたかに見えますが、人口減少を含めた社会の歪みは大きく、この事態にいかに対応するかの課題が残っております。人口減少問題は21世紀の日本の直面している課題でもあります。「二地域居住」や外国人の受け入れも視野に入れるべしと考えます。また、現行都道府県制度の枠組みの中で問題を解く無理に対して「道州制」によって対応すべし、日本のかたちを整えるべしという議論があります。宮城県の村井嘉浩知事は、東北州（東北6県+新潟県）をと主張しております。

福島原発事故

2011年3月11日の東日本大震災において最も厄介な事態は、日本を震撼させた福島第一原子力発電所の大事故でした。福島原発事故は日本文明が破綻の道に足を踏み入れていることを思い知らせる事故でした。あの日、福島県の大熊町に立地していた東京電力第一原発は、1号機と3号機が津波によって核燃料が溶融、水素発生、炉内の冷却水から核燃料露出、冷却注水機能喪失、そして建屋が水素爆発をしたのです。

2号機は水素が逃げて建屋は爆発しませんでした。4号機は定期検査で運転停止中でしたが、3号機からの水素によって爆発しました。そして大気中に大量の放射性物質が放出され、避難指示は20 km圏を越えて広がりました。10年を経た現在も、福島県内外で30,500人以上の方々が避難生活を強いられている状態です。原子炉の中で溶け落ちた核燃料、燃料デブリの取り出しは未だ着手できない状況にあります。

写真3 福島第一原子力発電所

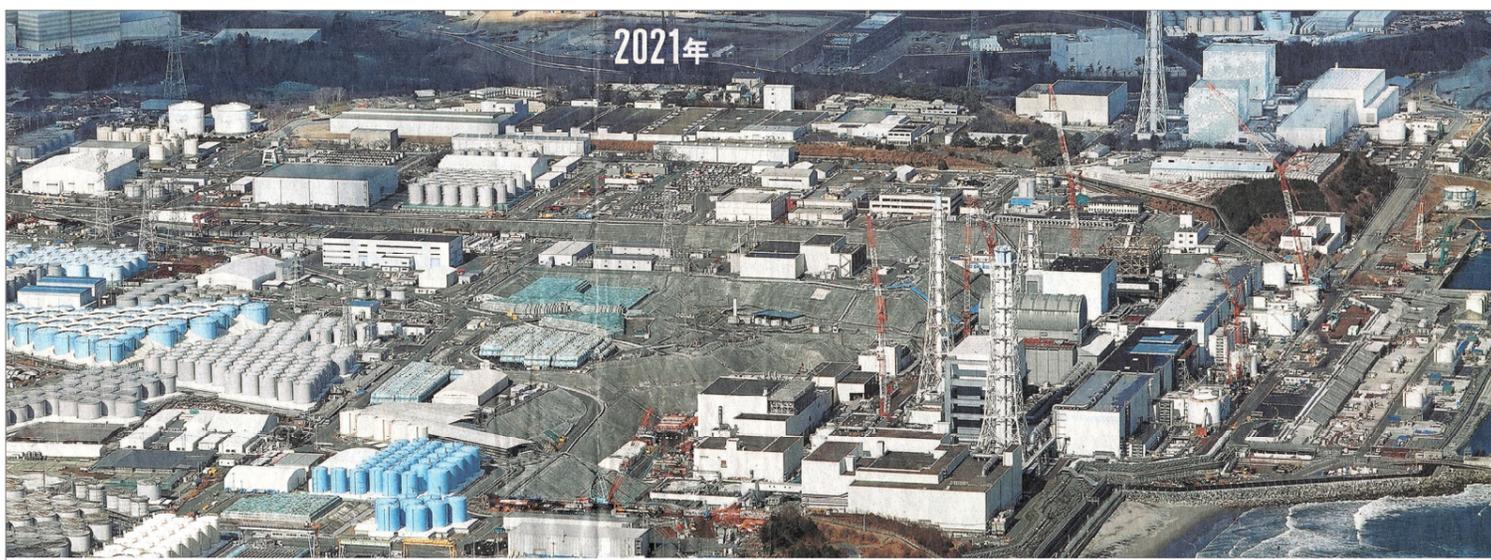
【震災前】



【震災後（2012年）】



【震災後（2021年）】



資料：朝日新聞 2021.3.11

原発の周りには汚染土の貯蔵施設が広がっています。国の示す汚染土の県外最終処分地案は未だ判然とせず、廃炉完了は30～40年後というのです。

原発事故による死者、行方不明者は22,000人。原発事故でピーク時には県の避難者数16万人超。今なお全国に42,000人の方々が避難生活を余儀なくされているとのことです。

2011年、原発発災直後、発電所周辺11市町村が避難指示区域(1,150km²)に、そして7市町村(大熊、双葉、浪江ほか)が帰還困難区域(340km²)に指定されました。

避難指示区域の変遷を見ると、この10年間で解除済み区域がかなり拡大したといえますが、放射線量の高い帰還困難区域は今でも除染が進まず337km²残っています。2021年1月のこの地域の避難者は36,000人、8割は県外にいるとのことです。

福島再生の目玉プロジェクトとして、国が主導する福島イノベーションコースト構想があります。廃炉の研究拠点、ロボットの実験研究施設、水素の製造・貯蔵技術の研究開発、太陽光パネル発電、国際研究拠点等々、福島

の原発事故を逆手にとったこれらの国家プロジェクトは是非とも成功して欲しいものです。そして福島県知事の発言のように、新しい人口とともに被災住民が福島の土地に戻って来られることを願います。

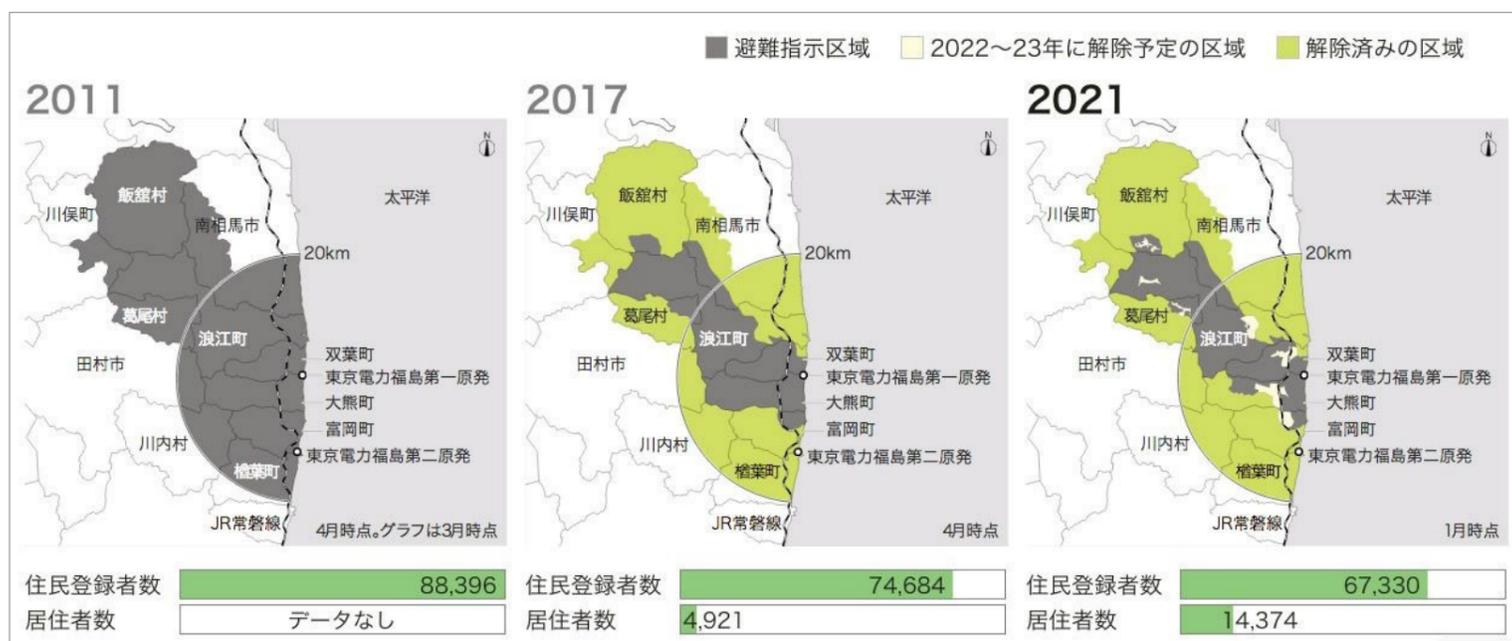
福島第一原発の処理水を海洋に放出することを政府は4月13日に決定しました。「廃炉を進め、福島の復興を進めるためには避けて通れない課題だ。安全性を確実に確保した上で実施する」(菅義偉首相談)。

福島第一原発の汚染水—高濃度の放射性物質を含む水と、建屋に流入した水が現在も日々増えており、これも処理して、現在1,000基超あるタンクに保管されて、原発の敷地に並べられております。これが2022年の秋には満杯になるというのです。

この汚染水をALPS(多核種除去設備)で処理し、海水で薄め、法定基準の40分の1以下の処理水にして海洋に放出するというのです。

ただ現在ある量だけでも放出し終わるまで30年以上かかる計算になり、加えて廃炉完了までに、これも20年、30年を要するという

図3 避難指示区域の変遷

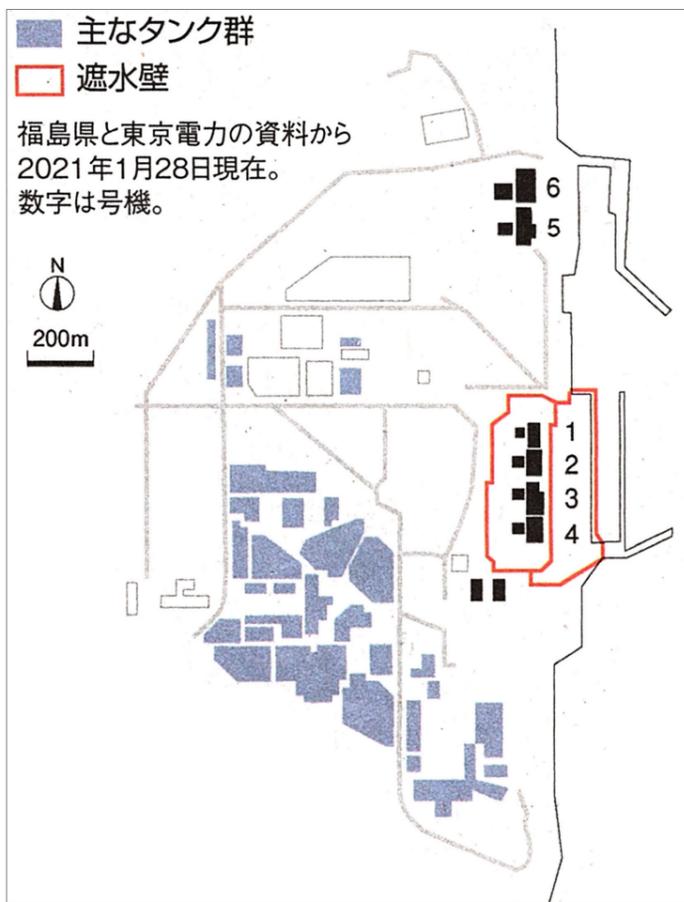


資料：朝日新聞 2021.3.5

のです。誰が真に責任を取るのかも不安材料です。

今度の政治判断で漁業関係者の政府への不信感が高まっている様子です。一般市民の間にも福島産の水産物に対する風評が根強く残っています。政府には風評対策も含めて一層丁寧な説明が求められます。

図4 福島第一原子力発電所、原子炉、タンク群の配置図



資料：福島県、東京電力

私自身、東日本大震災10年目となる東北の被災地を訪れることを計画しておりましたが、コロナ禍の最中、自粛せざるを得ませんでした。建築や都市計画分野の報告、各メディアの現地、現況の報告を読みながら、無数の死者の上に築かれつつある被災各地の現況や問題点について学習し、被災した地域社会の、5年、10年後の課題について考えてみました。そして福島原発事故は脱原発に向けて日本

の文明的転換を迫っていることを改めて知らされました。

現在、我々の社会に覆い被さっているコロナ禍が収まったら、改めて東北の被災地を歩いてみたいと思い定めています。

2. コロナ禍の推移 2021年3月・4月 世界の新型コロナウイルス感染状況

世界の新型コロナウイルス感染者が1億人を超えたのは今年の1月末(1月27日)でしたが、現在、1億4千万人超(4月25日)、死者300万人超となっています。米ジョンズホプキンス大学のデータによると、世界の新規感染者はピークの1月から半減、これはアメリカ、ヨーロッパでのコロナ禍対策、ワクチン接種、マスクの着用、社会的距離を取る習慣の定着、旅行減などが効いているとのことです。このように感染者の世界的減少傾向が

表2 世界の新型コロナ感染者

	感染者	死者
米国	3162万8017	56万6904
インド	1478万8003	17万7150
ブラジル	1390万0091	37万1678
フランス	532万1176	10万0752
ロシア	464万0537	10万3451
英国	440万1176	12万7508
トルコ	421万2645	3万5608
イタリア	385万7443	11万6676
スペイン	340万7283	7万6981
ドイツ	315万4480	7万9972
インドネシア	159万9763	4万3328
フィリピン	92万6052	1万5810
韓国	11万4115	1797
中国	10万2201	4845
シンガポール	6万0808	30
日本	53万2309	9593
世界計	1億4073万5224 (+77万1260)	301万1043 (+1万1463)

感染者の多い10カ国と、日本と往来の多い国。米ジョンズ・ホプキンス大の集計から。カッコ内は前日比。日本の数字は集計方法が異なるため、1面・社会面と一致しない

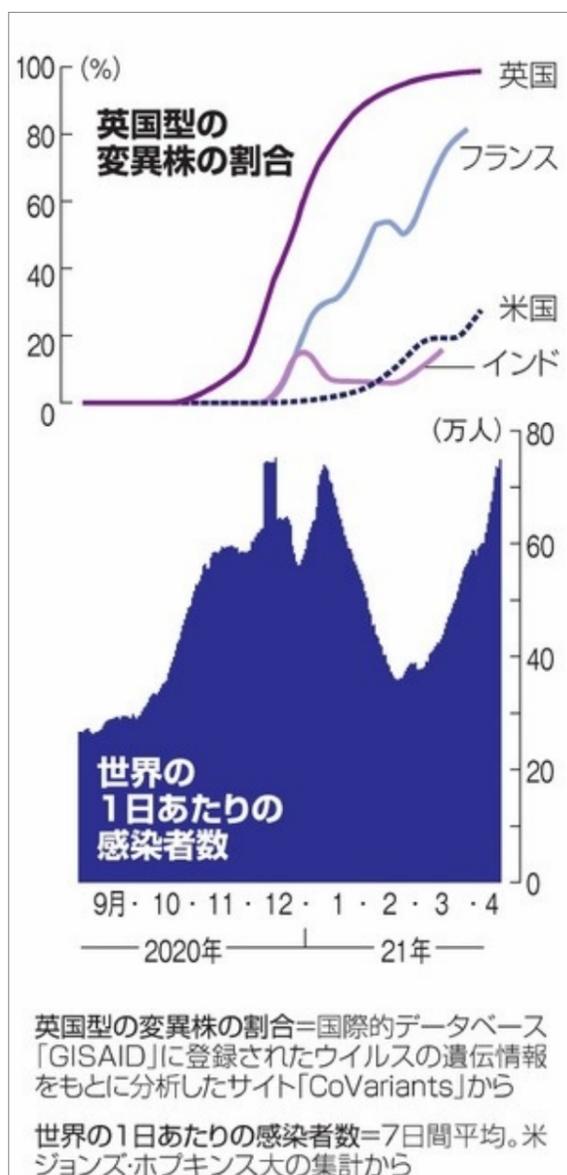
資料：朝日新聞 2021.4.19

図5 世界の1日当たりの死者数、
世界の1日当たりの感染者数



資料：朝日新聞 2021. 3. 14

図6 英国型の変異株の割合、
世界の1日あたりの感染者数



資料：朝日新聞 2021. 4. 19

一旦は見られたが、3月に入って増加に転じ、その勢いが増しています。感染力の強い変異株がワクチン接種の進む国でも拡大している様子です。

日本の新型コロナウイルス感染状況

本年1月、1都3県（1月7日）、7府県（1月13日）に出されていた緊急事態宣言が、3月18日、3月21日にひとまず解除され、これで山を越えたかに見えましたが、コロナ変異株の登場によって日本のコロナ禍の広がり、3月、4月と新しい広がりを見せております。特に、東京圏に次ぐ高密度人口集積地帯である関西圏にクラスターが発生し、医療体制の限度に迫るほどの拡大を見せております。大阪では1日に1,000人を超えるほどになりました（4月13日）。

緊急事態宣言に代わる「まん延防止等重点措置法」が施行され、これを大阪市（大阪府）、神戸市・西宮市・尼崎市・芦屋市（兵庫県）、そして仙台市（宮城県）に4月5日～5月5日まで適用されています。東京都では23区＋6市（八王子市、武蔵野市、府中市、調布市、立川市、町田市）が、4月12日～5月11日まで、この適用に追い込まれている状態です。さらに、京都市（京都府）と沖縄県が続いています。

そして4月16日、政府は首都圏の3県、埼玉県（さいたま市、川口市）、千葉県（市川市、船橋市、松戸市、柏市、浦安市）、神奈川県（横浜市、川崎市、相模原市）、そして、愛知県（名古屋市）をまん延防止等重点措置の適用地域に指示しました。

コロナ変異株が全国に主流となり、5月中に広がるという予想が専門家から出ています。

まさに「第4波」に入った事態です。新型コロナウイルスは形を変えて高密度、高動度(モビリティー)な人間(ヒト)居住地帯に纏わり付いてきます。

政府はここにきて急遽3度目の緊急事態宣言を発出しました。東京都、大阪府、京都府、兵庫県を対象とし、期間は4月25日から5月11日までのゴールデンウィークを挟んだ17日間です。主な対策として、

- ①休業要請(酒類やカラオケを提供する飲食店、映画館、百貨店などの床面積が1,000㎡以上の大型施設)
- ②人流の抑制(公立施設の閉館閉園)、公共交通機関の平日の終電繰り上げ
- ③その他(不織布マスクなどによる感染予防策、路上・公園での集団飲食に注意喚起)など。

政府の想定するレベルまで、17日間という短期間です。新型コロナを抑え込めるかの不安が残ります。

表3 緊急事態宣言とまん延防止等重点措置の違い

	まん延防止等重点措置	緊急事態宣言
発出の要件	政令で定める要件に該当する事態が発生したと認める時	①国民の生命および健康に著しく重大な被害を与えるおそれがあり、 ②全国的かつ急速な蔓延(まんえん)により国民生活、経済に甚大な影響を及ぼすまたはそのおそれがある
休業や営業の時間短縮	要請、命令できる	要請、命令できる
命令違反の罰則	30万円以下の過料	50万円以下の過料
国会への報告義務	なし	あり

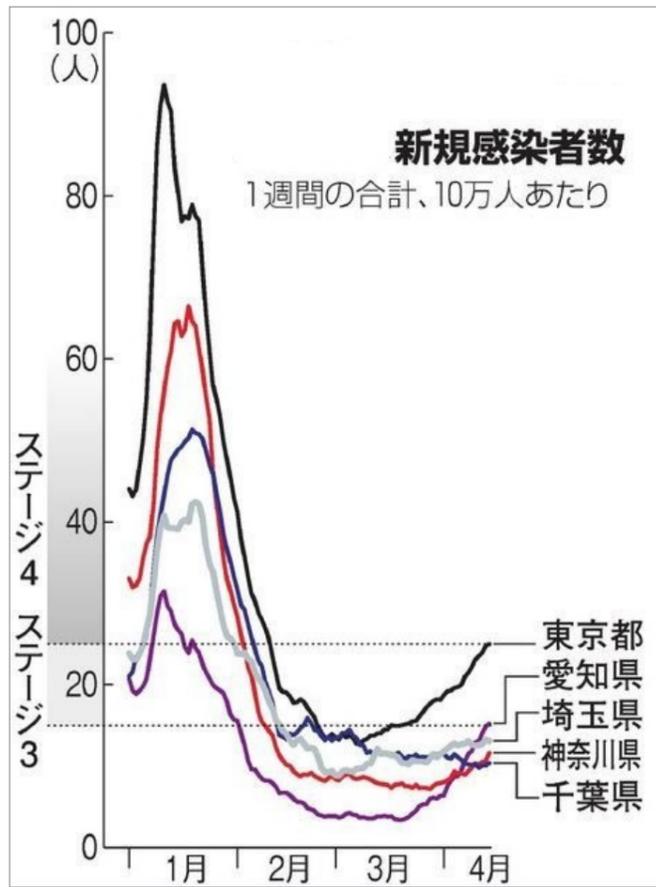
資料: 朝日新聞 2021.4.9

表4 新型コロナウイルス感染者

国内での確認		57万1601人(+3320)		1万0012	
北海道	2万3409(+139) 843	福井	858 (+9) 33	岡山	3638 (+38) 38
青森	1489 (+7) 22	山梨	1142 (+10) 19	広島	5727 (+33) 109
岩手	851 (+3) 31	長野	3741 (+6) 62	山口	1722 (+6) 43
宮城	7914 (+13) 60	岐阜	5543 (+31) 131	徳島	1188 (+29) 37
秋田	414 (+3) 9	静岡	6326 (+8) 121	香川	1164 (+11) 21
山形	1460 (+19) 32	愛知	3万2145(+161) 619	愛媛	2213 (+21) 32
福島	3216 (+18) 121	三重	3550 (+32) 77	高知	996 (+7) 19
茨城	7922 (+35) 133	滋賀	3555 (+32) 61	福岡	2万2048(+154) 348
栃木	5242 (+15) 71	京都	1万1998(+119) 182	佐賀	1533 (+11) 13
群馬	5754 (+30) 103	大阪	7万6483(+924) 1376	長崎	1967 (+20) 40
埼玉	3万6989(+109) 739	兵庫	2万9545(+310) 663	熊本	3952 (+52) 77
千葉	3万2580 (+90) 616	奈良	5726 (+56) 71	大分	1674 (+33) 24
東京	13万5598(+425) 1876	和歌山	2049 (+16) 24	宮崎	2141 (+5) 22
神奈川	5万2563(+160) 812	鳥取	364 (+5) 2	鹿児島	2037 (+13) 28
新潟	2192 (+15) 18	島根	335 (+3)	沖縄	1万2177 (+44) 133
富山	1263 (+9) 29	空港検疫など	2663 (+16) 3	コスタアトランチカ	149
石川	2382 (+15) 69	チャーター機	14	(長崎クルーズ船)	
ダイヤモンド・プリンセス(横浜クルーズ船)		712人		13	
入院・療養【うち重症】	5万1302人【898】	26日午前0時現在		計	57万2313人(+3320)
退院・療養解除	50万5397人(+3129)	厚生労働省による		死者	1万0025人(+35)
()内は前日からの増加。■内の数字は死者					

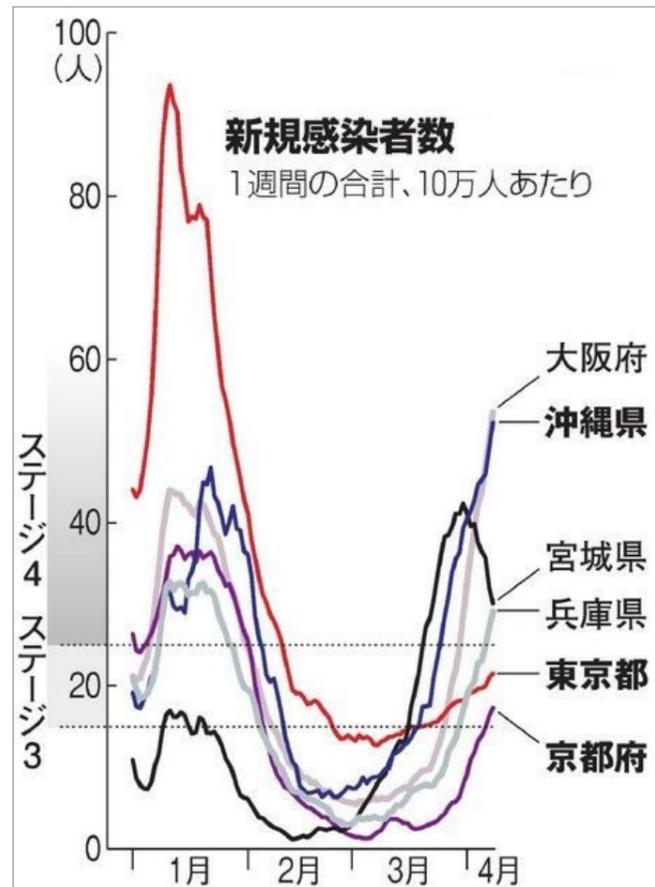
資料: 朝日新聞 2021.4.27

図7 まん延防止等重点措置対象となる4県と
東京都の新規感染者数



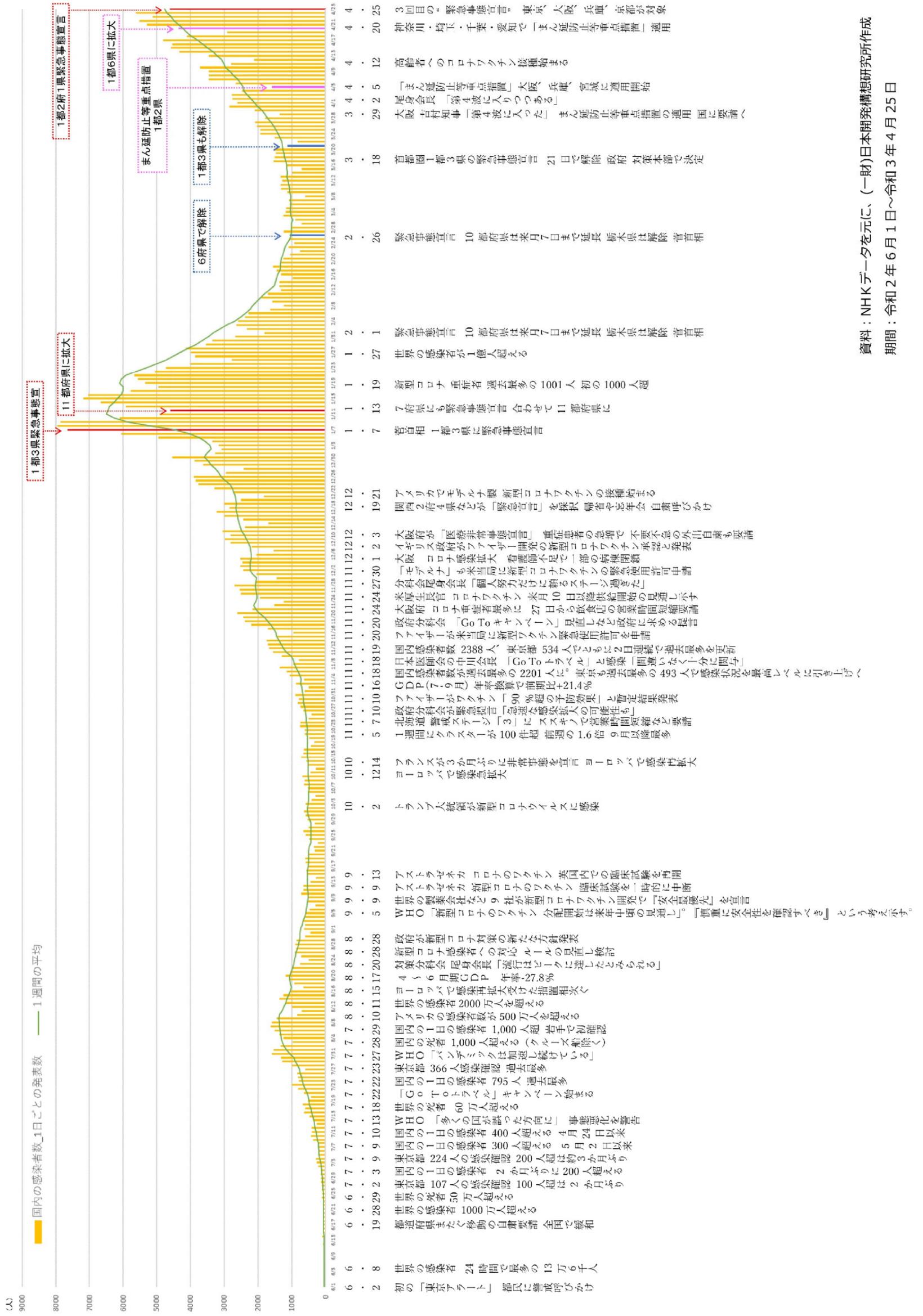
資料： 朝日新聞 2021.4.16

図8 まん延防止等重点措置対象の6都府県の
新規感染者数



資料： 朝日新聞 2021.4.10

図9 国内感染者の推移と出来事



ワクチンへの期待

4月12日、待望の一般人向けのワクチン接種が始まりました。ワクチン接種は医療従事者に対して2月17日から始まっておりましたが、まず65才以上の高齢者に対してこれを行うことになり、4月12日、高齢者の腕に筋肉注射が打たれている様子がテレビなどで流されておりました。今の対象は、高齢者3,600万人のうち、5月下旬までに半数の1,800万人、6月末までに2回接種し終えるというのが政府の発表です。

ワクチンは主に米国ファイザー社のもので、その効力や副作用はあるのかなどについて、さほど問題はないというのが接種された方々の感想でした。

新型コロナウイルスの変異株は従来のものよりも感染力が高く、免疫ワクチン効果減との懸念もありますが、私も接種を知らせる役所からの通知を待っているところです。

コロナ禍の日々

コロナ禍の一年、爆発的に新型コロナウイルスが形を変えながら感染領域を広げるなか、人々の行動は大きく制限されています。私の職場（日本開発構想研究所）でもテレワークを余儀なくされ、所員同士が対面して打ち合わせをし、議論をする場面が著しく減りました。その分、在宅勤務が多くなりました。

自宅はかつて私も計画に関与した東京都内、光が丘公園団地にあるのですが、この公園団地182haの3分の1、60haが公園であり、建設から30年以上経って木々が育ち、公園は森になっております。団地を南北に貫く自動車の入らない大通りは銀杏並木で、3月末から4月に入って春の芽吹きを始めております。

3月は桜が咲き満開でしたが、現在はハナミズキが森の緑に鮮やかです。土曜、日曜は、マスクをつけた老若男女、子供たちが、社会的距離を保って散策を楽しんでいます。大通りや広場では小さな自転車を乗り回している子、前と後に子供を乗せて自転車を走らせているお母さん。コロナ禍にあって都市の森、公園の森の効用を感じます。都市計画の分野において、都市、特に大都市において、緑地の確保は必須のことであり、「都市の公園」のルーツは、ペスト、コレラなど感染症との闘いの歴史の中にあります。

コロナ禍のなか、光が丘公園団地に1年住んで印象深い事は、団地を包んで「空」が大きく広がっていることです。春から秋へ、桜から銀杏へ、木々の色合いが変化してゆくなか、空の光も春から夏へ、そして秋へと移っていきます。時々刻々、雨上がりの雲のかたちの千変万化、色合いに見とれてしまいます。2021年、コロナ禍がこの広い空の下、東京も日本中も世界大に地球を覆って広がっているのです。

コロナ禍が収まって、この広い空の下、地上に住む私たちが、人間本来の姿、マスクを外して、人と人とが握手をし、肩を抱き合っで親愛の情を交わすことのできる人間の距離を一日も早く取り戻したいものです。

参考)『近代都市計画のイノベーション：都市の肺-感染症への挑戦とグリーンインフラの創造-』石川幹子、UEDレポート2020、(一財)日本開発構想研究所

3. 日米首脳会談—菅義偉首相、ジョセフ・バイデン大統領初会談—

菅義偉首相はコロナ禍の中、「バイデン大統領との信頼関係を構築し、日米同盟をさらに

強固なものにしたい。「自由で開かれたインド太平洋」の実現に向けて日本のリーダーシップを世界に示したい」と語って、4月15日夜、初の訪米に向けて羽田空港を出発しました。16日午後、ワシントンのホワイトハウスで、マスク姿の菅義偉首相とジョー・バイデン大統領の会談が行われている様子がテレビなどのメディアで流れました。

会談を終えて、日米両首脳による共同声明が読み上げられました。「我々は共に自由民主主義国家が協働すれば、自由で開かれたルールに基づく国際秩序への挑戦に対抗しつつ、新型コロナウイルス感染症及び、気候変動によるグローバルな脅威に対処できることを証明することを誓う。」

写真4 日米首脳会談後の共同会見に臨む菅義偉首相とバイデン大統領



資料：琉球新報 2021. 4. 18

共同声明の骨子（朝日新聞 4/18）

- ・ルールに基づく国際秩序に合致しない中国の行動について懸念を共有
- ・東シナ海におけるあらゆる一方的な現状変更の試みに反対
- ・台湾海峡の平和と安定の重要性を強調するとともに两岸問題の平和的解決を促す
- ・香港及び新疆ウイグル自治区の人権状況へ

の深刻な懸念を共有

- ・辺野古における普天間飛行場代替施設の建設など日米軍再編の取り決めの実施に引き続きコミットする
- ・5G（高速通信規格）の安全性及び開放性へのコミットメントを確認
- ・気候危機に対して「日米気候パートナーシップ」を立ち上げた
- ・拉致問題の即時解決への米国のコミットメントを再確認
- ・バイデン大統領は東京五輪・パラリンピックを開催するための菅義偉首相の努力を支持

共同声明のポイント（読売新聞 4/18）

- ・日本は防衛力を強化。米国は核を含むあらゆる能力で日本の防衛への支持を表明
- ・台湾海峡の平和と安定の重要性を強調。两岸問題の平和的解決を促す
- ・中国の香港、新疆ウイグル自治区の人権状況へ深刻な懸念を共有
- ・日米両国で世界の気候変動対策の取り組みを主導
- ・人工知能（AI）などの研究や技術開発で協力を深化
- ・半導体を含む機微な供給網で連携

菅義偉首相はバイデン大統領との会談を終えて、18日早々に帰国しました。日本は防災、防疫に加えて、アジア太平洋のこの位置において「防衛」にも目配りが求められていることを改めて思い知らされます。

4. 訃報

篠田桃紅氏 (107 才)

2021年3月1日、前衛書家・美術家の篠田桃紅さんが長寿を全うされ亡くなりました。50年ほど前、1969年、私の師匠の吉阪隆正先生の依頼を受けて、吉阪家の墓標にシャンソンの一節“太陽と月”の一節を刻みつけることになり、吉阪先生が見守る中、和服にたすき掛けの桃紅さんが墓標に張った和紙一面にこれを書き上げました。これを友人の鈴木恂が刻みを入れた時の情景を思い出します。そして100才を超えての独創的な瑞々しい活躍ぶりに目を見張っておりました。

古賀稔彦氏 (53 才)

2021年3月24日、平成の三四郎といわれた柔道の古賀稔彦さんが逝去されました。1992年バルセロナ五輪の柔道男子71キロ級では、左膝に大怪我を負いながらの試合でしたが、得意の背負い投げを見せての見事な金メダルでした。一線を退いた後、古賀塾を開いて少年少女に柔道を教え、2004年アテネ五輪の女子コーチとして、谷本歩実選手の63キロ級金メダル獲得を共に喜び合う場面も思い出します。53才の死が惜しまれます。

赤崎勇氏 (92 才)

2021年4月1日、ノーベル物理学賞受賞(2014年度)の赤崎勇さんが死去されました。主な業績は世界初の窒化ガリウム結晶に成功。高輝度青色発光ダイオード(青色LED)を発明。名古屋大学教授、赤崎研究室は学生には厳しくも温かく指導し、自分も研究に打ち込み、「不夜城」と呼ばれていた(朝日新聞4月3日)とあります。研究室の熱気が伝わ

ってきます。

田中邦衛氏 (88 才)

2021年4月2日、映画俳優、田中邦衛さん死去の報が流れました。「北の国から」「若大将」シリーズ、「網走番外地」「仁義なき戦い」そして数々の時代劇で口を曲げた独特な仕草で、主役でも端役でも存在感を放っておりました。「北の国から」の舞台、北海道は、私の幼少期に育った自然であり、同年の田中氏の死には感慨を覚えます。

橋田寿賀子氏 (95 才)

2021年4月4日、脚本家の橋田寿賀子さんが死去されました。1983～84年の橋田原作のNHK朝ドラ「おしん」を家人と毎朝欠かさず見たことでした。おしんは時代に重ねて女性の一生を表現した橋田作品の傑作です。そして橋田さんはやや皮肉な目で「渡る世間は鬼ばかり」を生涯現役で書き続けての見事な一生でした。

エディンバラ公フィリップ殿下 (99 才)

2021年4月9日、英国エリザベス女王を支えられたフィリップ殿下の訃報が世界に流れました。3男1女の父であり、慈善活動、環境問題への取り組みなど、王室の枠を越えた取り組みも広く知られており、イギリスの新しい形を示しました。フィリップ殿下はギリシャはコルフ島生まれ。かつて私も滞在した事がある場所でもあり、あれこれと想像を掻き立てられます。

この3月、4月も、20世紀から21世紀にかけてそれぞれの分野で多くの業績を残され

た方々の訃報が続き、時代と日本の高齢多死社会の姿をそのまま写しながら、時代を写し取りながら、国のかたちの輝くモザイクの一片のようにも思えます。

それにしても、昨年来つづくコロナ禍の中で、コロナ感染による死者の数は莫大です。世界の死者 300 万人余、日本 9,900 人余 (4 月 25)。看取りもできずに死に至るケースが大部分に違いありません。

マン・イズ・モータル、生者必滅とは人間に関する絶対的真理に違いないとはいえ、まさに不条理な死です。看取りも見送りもできない事態に、残された者たちにはどのような弔いの仕方があるのか。吉阪家の墓誌に刻まれたシャンソンの一節「太陽と月」が思い出されます。

(2021. 04. 28)